



2018年6月4日

お知らせ

楽天Edy株式会社

電子マネー「楽天Edy」のスマホアプリで
Edyにチャージが可能な地方銀行が50行を突破
- 新たに千葉興業銀行・大垣共立銀行が対応 -

楽天Edy株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：和田 圭、以下「楽天Edy」）は、6月4日（月）より、スマートフォン（注）の「楽天Edyアプリ」上でEdyにチャージができる銀行は全体で55行、そのうち地方銀行は50行に拡大し、新たに千葉興業銀行・大垣共立銀行が加わりしましたので、お知らせいたします。



本サービスは、スマートフォンの「楽天Edyアプリ」上で、千葉興業銀行・大垣共立銀行の預金口座を選択すると、「楽天Edy」へチャージがいつでもできます。あらかじめチャージ金額や限度額などを設定すると自動的に預金口座から指定した金額が引き落とされるオートチャージサービスにも対応しています。ユーザーにとっては、チャージ手段の選択肢が増え、利便性が向上しました。

なお、本サービスの開始を記念し、千葉興業銀行・大垣共立銀行のいずれかの口座からチャージするとEdyが当たるキャンペーンを同日より実施します。

楽天Edyは、今後もユーザーの満足度の向上を目指し、新サービスおよび機能の拡充に努めてまいります。

（注）「おサイフケータイ®」を搭載しているスマートフォン

■□ サービス概要 □■

■サービス：

「楽天E d y アプリ」経由で千葉興業銀行・大垣共立銀行の預金口座から「楽天E d y」へチャージが可能

■参考

- ・銀行口座チャージ：<http://edy.rakuten.co.jp/howto/osaifukeitai/charge/bank/>
- ・その他のチャージ：<http://edy.rakuten.co.jp/howto/charge/>
- ・対応銀行：楽天銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行、ゆうちょ銀行、信用金庫、千葉銀行、福岡銀行、親和銀行、広島銀行、滋賀銀行、百五銀行、北海道銀行、北陸銀行、常陽銀行、百十四銀行、十六銀行、南都銀行、七十七銀行、八十二銀行、足利銀行、伊予銀行、秋田銀行、北洋銀行、群馬銀行、紀陽銀行、トマト銀行、第三銀行、北日本銀行、京葉銀行、横浜銀行、愛媛銀行、静岡銀行、香川銀行、大光銀行、徳島銀行、中京銀行、鳥取銀行、愛知銀行、筑波銀行、京都銀行、大東銀行、福井銀行、阿波銀行、荘内銀行、北都銀行、三重銀行、仙台銀行、武蔵野銀行、四国銀行、東和銀行、岩手銀行、山梨中央銀行、青森銀行、千葉興業銀行、大垣共立銀行

■□ キャンペーン概要 □■

銀行口座
チャージ開始
記念

エントリー&対象の銀行口座からのEdyチャージで
最大Edy 10,000円分当たる!

2018年6月4日(月)から2018年7月3日(火)まで

 千葉興業銀行  OKB 大垣共立銀行

■内容：

本キャンペーンにエントリーのうえ、千葉興業銀行、大垣共立銀行からのE d yチャージをされた方から、抽選で1名様にE d y 10,000円分、10名様にE d y 100円分をプレゼント。

■期間：2018年6月4日（月）14：00～2018年7月3日（火）23：59まで

■URL：https://edy.rakuten.co.jp/campaign/2018/0604_bank_charge/

※「おサイフケータイ」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

以上